

(様式1)

平成30年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県富岩運河環水公園 都市計画課

2 施設所在地
富山市湊入船町

3 施設設置年度
平成9年度

4 設置目的
・とやま都市MIRAI計画のシンボルゾーンとして、水辺空間の豊かさを大切にしながら整備された親水文化公園

5 施設概要
敷地面積：9.8ha
主な施設
・展望塔：鉄骨鉄筋コンクリート2棟 121㎡、高さ20m
・泉と滝の広場：鉄筋コンクリート 775㎡
・野鳥観察舎：鉄筋コンクリート平屋 55㎡
・野外劇場：鉄筋コンクリート 122㎡ 観客席660
・立体駐車場：鉄筋コンクリート 964㎡ 73台

6 指定管理者
(公財) 富山県民福祉公園

7 指定期間
5年
平成27年4月1日 ~ 令和2年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

H26	H27	H28	H29	H30
1,395,000	1,416,000	1,565,000	2,653,000	2,130,000

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H26	H27	H28	H29	H30
221	255	252	1,368	2,075

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H26	H27	H28	H29	H30
—	218	218	432	552

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・利用者数は、対29年度比80.3% (523千人減)、有料公園施設の料金収入は対29年度比151.7% (707千円増)となった。
- ・夏に猛暑日が続いたことや天候不順により、利用者数が減少した。
- ・平成29年8月に立体駐車場が供用開始したことから、利用料金収入が増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・平成30年度新たに、多言語パンフレット(英語版、中国語版、韓国語版)を作成し、外国人観光客への効果的なPRを図った。
- ・映画やTVの撮影等の県内外からの希望を積極的に受け入れるとともに、ホームページやデジタルサイネージ(展望塔内に設置)でイベント情報をタイムリーに発信した。
- ・自動販売機を設置し、利用者の利便性を高めた。
- ・平成29年度から、職員2名を常駐させ、迅速な対応ができる体制を整備した。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

- ・環水公園のパンフレットを周辺施設、旅行会社等に配布した。
- ・イベント情報を中心にホームページによる情報発信やちらし配布を行った。
- ・平成27年度から近隣3銭湯をランナーズスパステーションと位置づけ、チラシやのぼり旗を作成することでランナーの公園利用を呼びかけた。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施方法：イベント参加者等にアンケート用紙を配付 実施期間：5月11日(金)、8月18日(土)、10月19日(金)、 12月15日(土)
回答者数	391名
結果	・散策や憩いの場としての利用：満足71%、やや満足18% ・子供の遊び場としての安心感、安全性：満足46%、やや満足27% ・公園を利用した際の満足度：満足62%、やや満足28%
結果を踏まえた改善事項	—

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・ご意見箱を設置している。
- ・ホームページに公園への感想要望等問合せ画面を設置している。

③ 主な苦情と対応

- ・野鳥観察舎の外を除草してほしい。⇒草刈りを実施。

(5) 個人情報保護の取組み

- ・個人情報に関するプライバシーポリシーを定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

・毎月第3日曜日の「環水公園の日」イベントにおいて、富山県民福祉公園、富山県白水カヌークラブ、富岩運河かたりべの会と連携して、カヌー体験教室と環水公園ガイドを定例イベントとして実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に維持管理を行っている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

非常時の緊急連絡網、非常権利マニュアルを作成するなど、適切に危機管理・安全管理に取り組んでいる。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

—

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・イベントが多く実施され、利用調整や現場の対応も複雑化していることから、引き続き、主催者と連絡を密に取るなどにより、トラブルや事故などの未然防止に努めてもらいたい。
・定められた管理費の中で更なる来園者の増を目指しており、必要となる駐車対策や施設管理の徹底等への対応について、引き続き共に検討を進めたい。